

資料

第1回 生きた建築ミュージアム推進有識者会議
平成25年6月14日

生きた建築ミュージアム事業について	1
〔議題1〕 有識者会議について	2
〔議題2〕 今年度の進め方について	3
〔議題3〕 選定について	4

生きた建築ミュージアム事業について

- ・当事業は、都市魅力創造戦略(平成24年12月策定)における重点エリアのマネジメント(御堂筋フェスティバルモール化)の主要プロジェクトの1つに位置づけられたものである。
- ・「生きた建築ミュージアム」は、御堂筋エリア(御堂筋及びその周辺)全体を、今も活用され続ける歴史的な建築物等を展示する1つの大きな美術館に見立て、それぞれの建築物等が持つ深い歴史や優れたデザインに触れていただくこと等を通して、新しい大阪の魅力を創造・発信していかうとするものである。
- ・平成25年度から、戦略のシンボルイヤーである平成27年度に向けて、展示品となる建築物の選定を行うとともに、その再生と活用を促進していくこととする。

平成25年度	平成26年度	平成27年度
歴史的建築物の選定、再生活用促進		生きた建築ミュージアムの実現

平成25年度の取り組み

- ・建築物(展示品)の選定、展示品であることを示すプレート交付
- ・歴史的建築物の再生整備支援(展示に際して必要な再生整備への補助)
- ・生きた建築ミュージアムの実現に向けた体制づくり(建物所有者等との連携等)



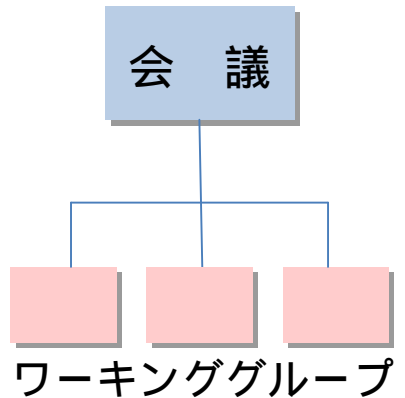
1. 有識者会議について

会議の目的

大阪市生きた建築ミュージアム事業の実施に当たり、外部の有識者の意見を聴取して事業の参考に資するため、大阪市生きた建築ミュージアム推進有識者会議を開催する。

構成

会議及びワーキンググループで構成する。



事業の推進に向けて、歴史的建築物等の再生・活用や都市魅力創造などに関して専門的な視点から意見を述べる。
(委員及び必要な関係者)

事業に関する個別専門の事項を検討する。
(特定の委員及び必要な関係者)

設置予定WG

- ・選定WG (選定の意義・視点について等)
- ・活用WG (公開事業について等)

など

【委員】

(50音順 敬称略)

嘉名 光市	大阪市立大学大学院工学研究科 准教授
倉方 俊輔	大阪市立大学大学院工学研究科 准教授
澤田 充	株式会社 ケイオス 代表取締役
高岡 伸一	大阪市立大学都市研究プラザ 特任講師
長町 志穂	株式会社 LEM空間工房 代表取締役
橋爪 紳也	大阪府立大学21世紀科学研究機構 特別教授
吉田 豊	大阪商工会議所 地域振興部長

2. 今年度の進め方について

事業スケジュール（案）

月	会議	選定	再生	活用
5	WG(選定)			
6	第1回	選定の意義・視点等の整理	基本的な方針の整理	
7	WG(活用)			
8	第2回 WG	選定候補案の検討・まとめ		公開事業試行案の検討
9	第3回 WG	選定候補案の確定 <small>建物所有者との調整</small>	補助実施要綱の制定	公開事業試行案の確定
10	第4回	選定 公表	事業者公募 (選定建物を対象に) <small>建物所有者との調整</small>	
11	WG		対象等確定	公開事業の試行実施
12	第5回	<small>次年度以降の検討</small>	<small>事業者との調整</small>	
1				<small>公開事業試行実施の検証</small>
2	WG		完了	
3	第6回	取組結果を踏まえた今後の展開の検討		

3. 選定について

1) 選定の意義 (案) ~なぜ選定するのか~

歴史的建築物等の魅力をよりわかりやすく、効果的に伝える。
所有者をはじめ、多くの人の建物への意識や愛着をより高める。

2) 選定の基準・視点 (案) ~選定にあたっての基本的な考え方~

エリアについて

- ・都市魅力創造戦略に示されている御堂筋(キタからミナミ)及びその周辺エリア(船場、中之島など)とする。
- ・区域の明確な線引きはしないこととする。

建築年代について

- ・近代建築を中心とした歴史的建築物等とする。
- ・大阪の都市としての発展が感じられるようにするため、建築年代は限定しないこととする。

その他

- ・重要文化財は選定対象とはしないこととする。(すでに「生きた建築ミュージアム」の展示品であるといえるため)

「生きた」建築であること

- ・建築の魅力を生かした状態で、今の時代にあった使い方をしていもの。
- ・大阪の民の力を感じることができるもの。
- ・次の時代への展開が期待できるもの。
- ・保存という視点だけではなく、活用を重視することとする。

発信力があること

- ・建築やまちへの興味・関心が広がっていくような魅力・物語がある。
建築にあまり興味がない方や専門的な知識がない方でも興味が持てる、わかりやすい魅力がある。
その建物から、他の建物やまちへ興味や関心が広がっていくような物語、キーワード等を持っている。